

第2号議案

平成21年度事業報告

<概要>

日本経済は平成18年末頃から景気後退が進みましたが、一昨年秋以降世界的な金融危機の深刻化、世界同時不況という状況下、急速な景気の悪化へと転じました。昨年の春ごろから持ち直しの動きが見られるようになりましたが、経済活動の水準はなお極めて低く、金融危機についても小康状態にあり、終息に向かったと断定できるような状況にはありません。

景気回復の見通しが立たない状況の下、雇用情勢では新規採用抑制や非正規社員が雇用の調整弁として人員削減の対象となるなど、依然として厳しい情勢にあり、それに伴う雇用への不安から消費を控える傾向が続き、デフレへと進行しました。

シルバー事業においては昨年秋に行政刷新会議による事業仕分けの対象となり、大幅な補助金の削減との判定がなされました。このことは、これからのシルバー人材センターのあり方を大きく左右するものであると考えられます。

そのような中、当シルバー人材センターでは平成20年度に設立以来初めて契約額の前年度比減額となったことから、事業普及啓発活動やタウン誌への記事掲載など積極的に新規受託事業の獲得に努めてきました。しかし、厳しい経済状況を打破することができず、平成21年度についても、公共・民間企業とも継続的な大口の就業先での契約打ち切りが相次ぎました。

結果として発足以来初となる9.2%もの大幅な契約額の減少となり、センター事業全般にとり大きな衝撃となりました。また、受託件数については、前年度比0.7%の減少となりましたが、単発的な仕事の需要はそれほど影響を受けず、各種PR活動の効果がうかがわれました。

会員数については、地区班による入会促進の機運が高まり、昨年度818人もの新規入会者がありました。これにより年度末会員数が3,668人となり、3,600人の事業目標を達成することができました。

平成22年4月1日からの相模原市の政令指定都市移行にあわせ、役員選出要綱を含めセンター組織の見直しを行いました。また、事務所体制については、効率的かつ効果的運営ができるよう、北事務所と城山支所を統合し、市の協力のもと城山総合事務所内に新たに事務所を設けることができました。同様に、藤野連絡所についても藤野総合事務所内に事務所を設けることができました。

安全就業対策については全国的に多発している重篤事故等を未然に防止するため、受注している業務を分析し、危険業務の提供を避けるため受注業務の把握を行いました。また、県シ連が主催した安全対策研修会に安全就業推進員が参加し、交通安全に関する基礎知識を高めました。

1 事業実施状況

(1) 高齢者の就業に関する調査及び研究

ア 民間企業を対象に顧客アンケート調査を実施することにより、顧客のニーズを把握、また事業運営の参考にし、受注拡大を図りました。

- ・調査顧客数 385件
- ・回答数 239件
- ・回収率 62.1%

イ 通常総会の出欠確認書の中で、近況の健康状況について調査を行うとともに、定期的な健康診断の受診を励行いたしました。

ウ 「職種別グループ」を立ち上げるため、先進シルバーの視察を行いました。また、地区長会議及び地区別懇談会等を通じ、立ち上げの趣旨等を説明するとともに職種ごとに説明会を開催し、グループ就業の必要性及び今後の取り組みについて理解していただきました。

(2) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供

ア 会報「いきがい」を発行し、会員等に各種情報の提供を行いました。

- ・発行回収 年4回(4月・7月・10月・1月)
- ・発行部数 各回 4,000部

イ 市の広報紙に受注開拓及び会員入会促進の記事を掲載し、広く市民に情報の提供を行い、受注の拡大に努めました。

ウ 未就業会員の現状把握のため、地区担当職員が個々の会員に連絡し、希望職種の再調査等を行い、年齢や体力を考慮し、就業意欲のある会員が就業機会を得られるよう努めました。

エ 電算機の更新にあわせ、会員の顔写真を撮りなおすとともに、希望職種の変更を受けました。

(3) 高齢者の就業に関する相談業務

ア 各事務所にて、毎月1回の配分金支払日に就業相談を実施するとともに、常時、窓口にて就業希望会員の相談に応じました。

イ 地区別懇談会を通じ、現状の就業状況等について説明を行うとともに、必要に応じ、個々の会員に対し就業相談を実施しました。

ウ 区政施行に伴い、センター組織の再編及び地区班組織について、地区別懇談会等を通じ説明しました。

(4) 高齢者の就業機会の開拓及び提供

- ア 市内全域にタウンニュースに記事を掲載し、また津久井ブロックには新聞折り込みを行い、就業機会の拡大及び入会促進を促すとともに、神奈川中央交通バス車内アナウンスを行い、センターのPRを行いました。
- イ 受注拡大の見込みが少ない中、ひとりでも多くの会員が就業機会を得られるよう、ワークシェアリングについて検討、推進しました。
- ウ 商工会と連携し、休耕地を利用した野菜作りを実施しました。地場産野菜作りと会員の就業機会が継続的に得られるよう、野菜作りの拡大を商工会に働きかけました。
- エ 10月18日「シルバーの日」に合わせ、各ブロッカー一斉に橋本・相模原・相模大野各駅のデッキで、また津久井ブロックでは各地の祭り等に参加し、会員、役職員がともにセンターのPRを行い、広く市民に対し、シルバー人材センターの存在をアピールしました。同日に開催された市のリサイクルフェアにも参加し、パンフレット等を配りました。また、各地区でも活動を実施し、より地域に密着したセンター事業の普及啓発に努めました。

(5) 高齢者のための無料職業紹介事業等

- ア 県シ連が主催した一般労働者派遣事業検討委員会に職員が出席し、派遣事業の問題点及び改善策を協議するとともに、手数料の負担割合及び年次有給休暇の取得日数について改定を行いました。また、当センターが中心となり近隣拠点シルバーとの連携を深めながら、派遣事業に対する取り組みについて協議を行いました。
- イ 無料職業紹介事業の資格取得講習会に職員3名が参加し、資格を取得しました。

(6) 高齢者のための技能研修及び各種講習会

高齢者の生きがいの充実及び受託事業を確保するための知識や技能の習得、向上を目的として次のとおり各種技能講習会及び資格取得のための講習会を実施しました。

ア 高齢者能力活用施設講習会

講習会名	期 間	内 容	参加人数	講 師
ビーズ編み	6月22・23日	チェコラウンドの製作	20人	会 員
はじめよう水彩画	6月24・25日	絵手紙に描く水彩画	8人	会 員
男の料理	10～11月	手軽にできるメニュー	27人	会 員
初心者カメラ	10月22・23日	コンパクトデジタルカメラの撮り方	8人	会 員

初級書道	11月26・27日	年賀状の書き方	19人	会員
新聞コサージュ作り	12月2・3日	コサージュ作成	19人	会員
健康麻雀(初級)	12月14・15・16日	初心者向け麻雀教室	17人	専門講師
布ぞうり編み	11月18・19日 2月2・3日	布ぞうり編み	20人	会員

イ 会員技能習得等講習会

講習会名	期間	内容	参加人数	講師
接客・接遇	6月22・29・30日	コミュニケーションの大切さ	80人	専門講師
草刈機械操作	7月(3回)	刈払の実習及び安全就業	54人	会員
植木の手入れ	7月・10月	植木の整姿、剪定及び安全就業	18人	専門講師

ウ シニアワークプログラム(S P事業)の実施

講習会名	期間	内容	参加人数	講師
ホームヘルプ - 2級養成	8月～9月	訪問介護養成研修	60人	専門講師

(7) 安全就業対策

会員の事故防止及び日常的な安全就業や健康管理の知識等を習得するための事業を実施しました。

- ア 全国的に多発している重篤事故等を未然に防止するため、事故発生率の高い作業を分析し、危険業務の提供を避止するため、受注業務の把握及び再認識を行いました。
- イ 前年度に発生した職種別事故の件数などを会報「いきがい」に掲載するとともに、仕事の安全基準や基本動作などについて全会員に周知しました。
- ウ 県シ連が主催した安全対策研修会に安全就業推進員が参加し、交通安全に関する基礎知識を高めるとともに、健康体力測定等を体験し、日ごろの体力度を認識しました。
- エ 新規入会会員に対し安全ワッペンを配布し、着用の義務等について説明を行いました。
- オ 安全管理対策員就業現場巡回等

時 期	6月～7月
巡回現場数	76ヶ所
巡回対策員数等	49名

- カ 就業途上における事故防止ゼロを合言葉に、地区別懇談会等を通じ交通ルールの励行等を指導しました。

(8) 地区班活動の充実・強化等

- ア 通常総会の出欠をこれまでハガキで確認していましたが、地区役員の自発的な意見から地区班による回収に切り替えました。
- イ 理事の改選期にあたったことから、理事及び地区長との情報交換を密に行い、シルバー事業の現状と課題等について協議を行いました。
- ウ 政令指定都市への移行に向け、3事務所3連絡所体制への変更や区制移行に伴う地区班の所属事務所の変更等について地区別懇談会や会報を通じ説明しました。

(9) 会員の福利厚生事業

会員相互の親睦・交流を図るため、各ブロックごとに会員交歓会を開催しました。

また、会員の自主性、主体性を推進するため、会員福利厚生委員による企画・立案により、会員参加型の会員親睦慰安旅行を実施しました。

事業名	開催日	場 所	参加者数
会員親睦慰安旅行 (1泊2日)	9月10・11日	群馬県 水上温泉 ホテル聚楽	260人
会員交歓会 (日帰り)	2月17・18・19日	静岡県 沼津方面 沼津グルメ街道の駅	534人

(10) その他

- ア 平成24年度からの公益社団法人への移行を目指し、関係機関と連絡、調整を行いました。県下では各拠点が同時期に移行するよう、県シ連や各拠点への説明資料を当センターが中心となり作成しました。
- イ 平成22年4月1日からの政令指定都市移行に向け、北事務所と城山支所を移転し、組織運営の効率化を図りました。
- ウ 昨秋に実施された行政刷新会議の事業仕分けにおいて、予算の縮減という評価結果が出されましたが、シルバー人材センターがこれまで地域のニーズに応え、高齢者の就業や生きがいの増進に大切な役割を担ってきた団体であることから、県シ連を中心に、県内の拠点連名で県内の各政党に支援の要請を行いました。